

| 質問・要望 | 内容 |
|-------|---|
| 質問 | 防犯灯のLED化によって消費電力はどの程度軽減されるのか。 |
| 調査結果 | 10wまでの防犯灯の場合、1灯につき1カ月28円程度軽減される。 |
| 質問 | 市施設の使用料の消費税増税の転嫁はおかしいのではないかと。 |
| 回答 | 市の施設利用料について、消費税増税分を引き上げたが国に納める義務はないが、施設の維持経費に消費税がかかるので市民に負担をお願いした。他自治体では引き上げなかったところもある。 |
| 質問 | 隣の石川県の自治体では、市内の業者でないとならぬ仕事が取れないなどルールがある。福井では安ければ使われるなど差異がある。地元業者を育て、守る取り組みが必要ではないかと。 |
| 回答 | 市としても建設事業への入札では市内業者に限定している。しかし、他自治体の状況を調査しながら市としての取り組みを検証する。 |
| 質問 | 空き家対策について、私有財産である空き家の解体に、税金を投入することに問題はないかと。 |
| 回答 | 空き家の問題は全国的にも取り組まれている中で、市でも議論されてきた。1㎡あたり5,000円で、50万円まで補助を出すこととなっているが、審査した上での認定となっており、無差別に出すことは考えていない。 |
| 質問 | 西口中央地区開発の総事業費129億円のうち、現在はどれくらいの額が拠出されたか。 |
| 調査結果 | 現在の拠出額は、28.3億円である。残りは、平成26年、27年度に拠出予定である。 |
| 質問 | 森田北東部の保留地の売れ行きはどうか。 |
| 調査結果 | 平成26年4月末現在で、保留地処分率は46%である。過去5年は、年間4%以上の処分率が続いており、平成25年度は、川西国道線の供用開始の影響や北陸新幹線用地保留地の売却も手伝って、過去最大の12.8%の処分率と8.3億円の売り上げを記録した。 |
| 質問 | 駅周辺の商店街を活性化させる施策についてどのように考えているか。郊外の大規模出店を規制すべきだったのではないかと。 |
| 調査結果 | 駅周辺の商店街の活性化は、本市にとっても重要課題と考える。中心市街地チャレンジ開業支援事業や企業家支援セットメニューで空き店舗の減少やまちづくり活動推進事業によるイベントの開催などにより、賑わいの創出を目指している。 |

| 質問・要望 | 内容 |
|-------|---|
| 質問 | 下水道施設の建設は計画通り進んでいるのか、進捗状況を教えて欲しい。 |
| 調査結果 | 平成32年度末までの汚水処理人口普及率100%を目指し整備を進めている。平成25年度末の普及率は、92.7%に達している。公共下水道としては、市街化区域の整備が、おおむね完了し、今後は、調整区域の普及拡大に取り組んで行く。 |
| 質問 | 道路や歩道が痛んだままになっている。橋の老朽化などの維持管理、その計画はどうなっているか。 |
| 回答 | 平成25年度当初予算に比べ増加している。 |
| 質問 | 新幹線福井開業に向けて議会としての後押しを。 |
| 回答 | 新幹線開業は議会としても応援していく。 |
| 質問 | 朝鮮学校に市から補助金が出ていることをどう考えるか。 |
| 回答 | 市として図書購入に対する補助を行っている。政治的対立を子どもの教育の場に持ち込むことは適当でないと考え、教育の平等という立場から補助を行っているものである。 |
| 質問 | 地区によって児童館に入れる年齢に地区によってばらつきがある。統一すべきではないか。 |
| 回答 | 施設の不足で地区によって入りたくても入れない子どもがいる。小学校3年生以上の児童も受け入れられるよう改善する事業計画を策定中である。 |
| 質問 | 農業・産業育成のソフト事業の結果や報告が現場の実態と合っているかをチェックできているか。 |
| 回答 | ソフト事業はすぐに結果として表れにくいことや、結果を実態として捉えにくいこともあるが、その結果についてチェックを強めていきたい。 |
| 質問 | 福井駅を降りても橘曙覧の生家がわからない。わかりやすい表示を。 |
| 回答 | 表示はわかりやすいものを検討する。 |